

VISUALIZE THE FUTURE



2023年3月期 第2四半期

決算説明会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2022年11月10日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 1 2023年3月期 第2四半期 決算説明**
- 2 2023年3月期 第2四半期 取り組みと成果**
- 3 2023年3月期 通期業績予想**
- 4 DMPの先進テクノロジー**

1 2023年3月期 第2四半期 決算説明

2 2023年3月期 第2四半期 取り組みと成果

3 2023年3月期 通期業績予想

4 DMPの先進テクノロジー

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウェアからハードウェア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル (DMP)
設立	2002年7月 (2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行)
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長CEO 山本 達夫 代表取締役社長COO 大澤 剛
資本金	1,838百万円
連結従業員数	69名 (2022年4月1日現在)
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

IPコアライセンス事業

- ・AI/GPU IPコアライセンス
- ・AIソフトウェアライセンス



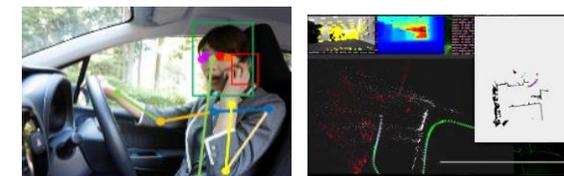
製品事業

- ・アミューズメント市場向け画像処理半導体
- ・AI FPGAモジュール
- ・協働ロボット向けビジョンシステム



プロフェッショナルサービス事業

- ・AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウェア受託開発
- ・FPGA/ボード受託開発
- ・セーフティ、ロボティクスに係る顧客製品・サービス開発サポート



- 第2四半期売上高は過去最高を達成。営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失も前年同期から改善
- プロフェッショナルサービス事業、ロボティクス分野を除き、事業別/分野別売上高は伸長・堅調
ロボティクス分野のプロフェッショナルサービス事業はQ3以降回復予定

全社	事業別売上高	分野別売上高	
売上高	IPコアライセンス	セーフティ	ロボティクス
925 百万円 (YoY※ +34%)	67 百万円 (YoY △1%)	49 百万円 (YoY +9%)	31 百万円 (YoY △71%)
経常利益	製品	アミューズメント	その他
△94 百万円 (YoY +14百万円)	798 百万円 (YoY +59%)	789 百万円 (YoY +58%)	55 百万円 (YoY +34%)
	プロフェッショナルサービス		
	59 百万円 (YoY △50%)		

※ YoY (Year on Year) : 前年同期比

主に製品事業の売上増により増収、損失は改善

(単位：百万円)	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額
売上高	690	925	+234
営業利益	△109	△ 102	+7
経常利益	△109	△ 94	+14
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△110	△ 95	+14

- ロボティクス分野におけるプロフェッショナルサービス事業の減収があったものの、主にアミューズメント分野の伸長により34.0%増収。営業損失も改善
- 為替差益の計上もあり、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失も前年同期比改善

- セーフティ分野は、ドライブレコーダーを活用したADAS/DMSに加えて、より広範なセーフティ分野にビジネス領域拡大
- ロボティクス分野は、第3四半期以降、製品事業、プロフェッショナルサービス事業を中心に拡大見込

● 事業別売上高

IPコアライセンス事業 **67百万円** 前年同期 67百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、セーフティ分野/ロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンス・サポート収入等を計上

製品事業 **798百万円** 前年同期 502百万円

- RS1の量産出荷を継続するとともに、業務用車両の周辺監視用途ZIA C3キット量産出荷売上、Cambrianビジョンシステムの売上を計上

プロフェッショナルサービス事業 **59百万円** 前年同期 120百万円

- セーフティ、ロボティクス、アミューズメント分野の受託開発サービス収入を計上
- ロボティクス分野顧客の研究開発が過渡期にあり、案件が減少

● 分野別売上高

セーフティ分野 **49百万円** 前年同期 45百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益（ランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー）、プロフェッショナルサービス収入を計上
- 業務用車両の周辺監視用途ZIA C3キットの量産出荷売上を計上

ロボティクス分野 **31百万円** 前年同期 106百万円

- サブスクリプション収益の計上を開始
- 顧客の研究開発が過渡期にあり、プロフェッショナルサービス事業が減収

アミューズメント分野 **789百万円** 前年同期 499百万円

- RS1の量産出荷売上を計上

その他分野 **55百万円** 前年同期 38百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティが増収

自己資本比率は86.2%と高水準を維持

(単位：百万円)	2022年 3月末	2022年 9月末	増減額	主な内訳
流動資産	2,784	3,033	+249	売掛金及び契約資産 +198, たな卸資産 +46
固定資産	688	452	△235	投資有価証券 △199 その他無形固定資産 △23
資産合計	3,472	3,485	+13	
流動負債	358	462	+103	買掛金 +122
固定負債	18	18	+0	
負債合計	376	480	+104	
純資産合計	3,095	3,004	△90	利益剰余金 △95
負債・純資産合計	3,472	3,485	+13	

1 2023年3月期 第2四半期 決算説明

2 **2023年3月期 第2四半期 取り組みと成果**

3 2023年3月期 通期業績予想

4 DMPの先進テクノロジー

- **ロボット導入効果の高い産業（製造業、運輸業等）へのリーチを広げる**
- **DMPロボティクスポートフォリオの競争優位性を発揮でき、付加価値の取れる領域・技術にフォーカス**

● **自社技術の磨き込み、フォーカス**

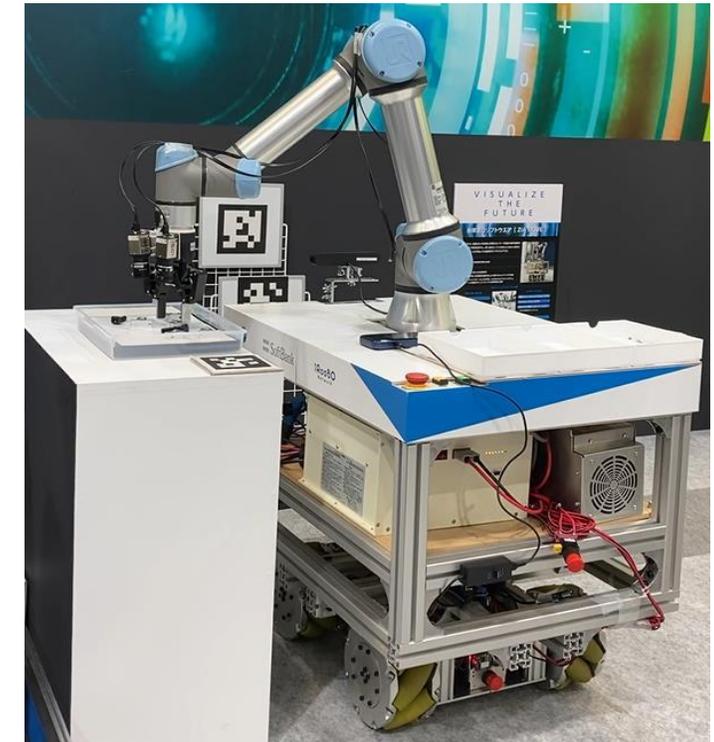
- 大阪市の支援によりATC（アジア太平洋トレードセンター）施設において、ZIA SLAM (MOVE) の機能・ロボストネス向上
- 人とピッキングロボットの協働をサポートするデジタル安全柵「DMP Robot Safety」、ロボットピッキングの成否判定を行う「DMP Picking Check」を開発

● **Cambrianビジョンシステムビジネスの拡大**

精度、速度、ピッキング対象の広範さ、外乱光環境下における安定性等の強みが評価され、自動車業界中心に製造業での採用、高確度商談が拡大

● **高付加価値の追求**

- AMR（自律走行ロボット）とロボットピッキングを組合せた先端AMRを開発
工場内部品搬送の完全自動化を支援
- ロボティクス分野におけるサブスクリプション収入計上開始



名古屋ロボデックス展における先端AMRデモ

- 新規IPコアライセンス、リカーリングビジネス、プロフェッショナルサービスの提供により安定成長を目指す
- 安全運転支援からより広範なセーフティ分野に事業拡張

● 既存顧客の深耕、新規顧客の獲得によるビジネス拡大

- 既存顧客に対するエッジ(ZIA SAFE)からクラウド(ZIA Cloud SAFE)に至るトータルサポートを継続
- 新規顧客のPoC案件獲得

● リカーリングビジネスの成長

- サブスクリプション安定収益の獲得、半導体不足に伴いロイヤリティ収入は未達
- OTA※活用による既出荷機器に対するランニングロイヤリティはQ3以降計上予定

● 安全運転支援からより広範なセーフティ分野に事業拡張

- 業務用車両の周辺監視向けZIA C3キットを量産出荷
- スマートシティに関連したエッジカメラを活用した人流、交通量調査PoCに進捗

※OTA(Over-the-Air):無線通信を経由してデータ(ソフトウェア)を送受信する技術



● アミューズメント分野

- 大型受注に対応したRS1の量産出荷を継続
- 市況は、半導体・部材不足の影響はあるものの、ゲーム性が向上したパチスロ6.5号機は好調
スマートパチスロ、スマートパチンコの市場導入も今期中に控える

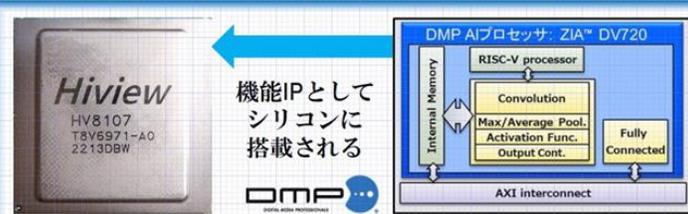


● AI/GPU IP

- 当社AI/GPU IPを搭載したお客様のデジタル機器の累計出荷が1.5億台に到達
足元のロイヤリティビジネスもライセンス更新等で前年同期を上回る好調を維持
- 演算性能とシリコンサイズのバランスが評価され、TV REGZA 4Kテレビに採用された
AIプロセッサIP「ZIA DV720」のロイヤリティ収入を第2四半期に計上開始
「テカナリエレポート 632号」に、HISENSE社とREGZA社が共同開発した
テレビ用イメージプロセッサHV8107にDV720が採用されている記事が掲載

HV8107が採用するDMPのAI  TechanaLye

HISENSE社とREGZA社が共同開発したテレビ用イメージプロセッサHV8107は映像内の人物の顔を検出し超解像度処理やAI処理を行い人物を従来よりも自然な色で表現している。HV8107にはDMP社(中野区)のAIプロセッサ ZIA DV720が採用されている。同シリーズはIPコアとしてリリースされており産業機器向け製品にも採用されている。DMP社やNSITEXE社(港区)など日本発の高度な演算系IPが躍進することを期待する。



機能IPとしてシリコンに搭載される

Technology analyze for everyone

本レポートはTechanaLye社に断りなく2次配布を禁じます
本レポートはTechanaLye社分析結果であり、実際とは異なる場合があります

Page52

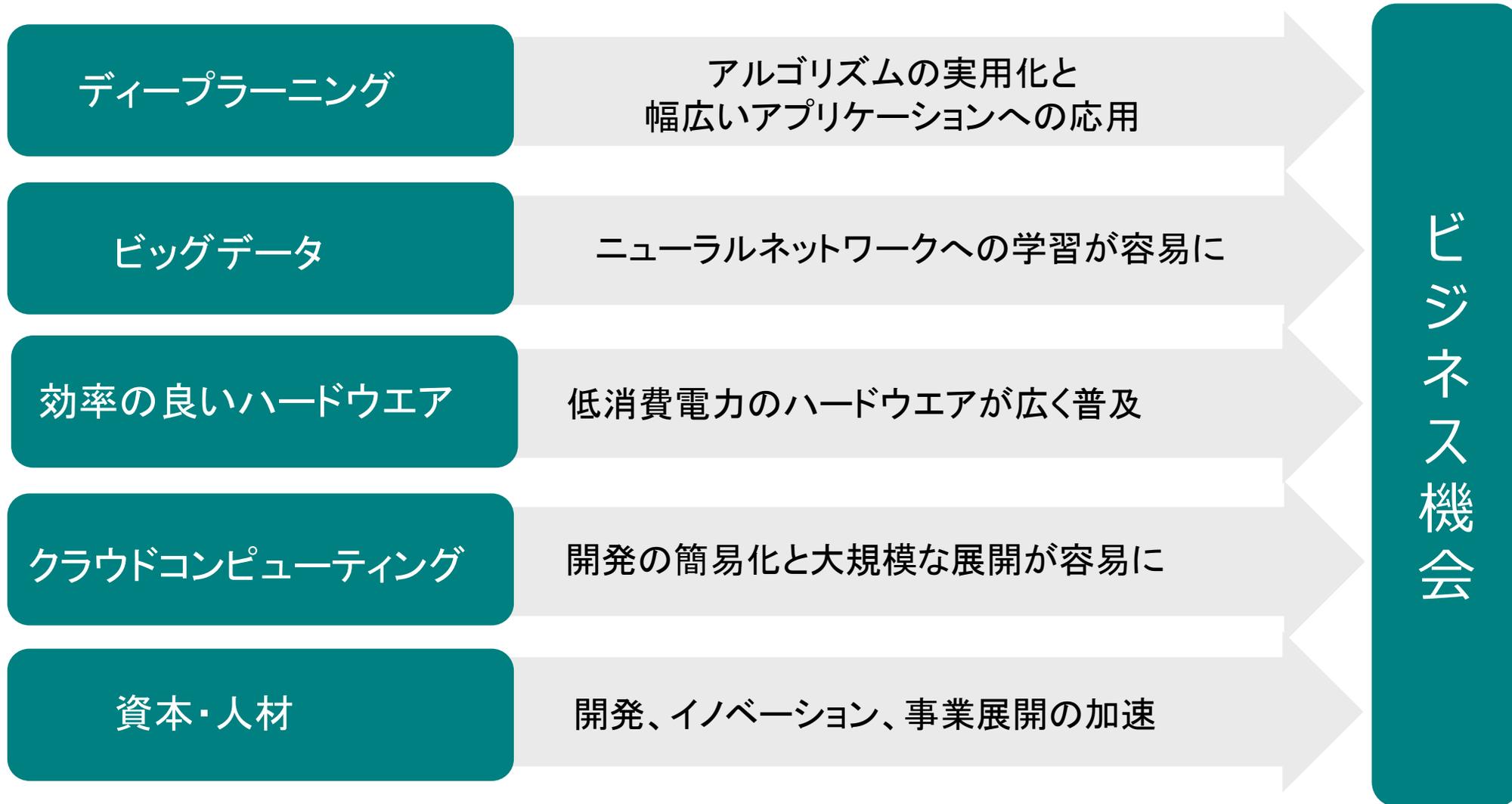
- 1 2023年3月期 第2四半期 決算説明
- 2 2023年3月期 第2四半期 取り組みと成果
- 3 2023年3月期 通期業績予想**
- 4 DMPの先進テクノロジー

5月13日公表の通期業績予想に変更なし

(単位：百万円)	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 第2四半期実績	2023年3月期 通期予想
売上高	1,667	925	2,370
営業利益	△126	△102	25
経常利益	△122	△94	25
親会社株主に帰属する 当期純利益	△157	△95	20

- 第2四半期累計の売上高進捗率（対通期予想）は39%も、第3四半期以降、IPコアライセンス、製品、プロフェッショナルサービス事業が伸長見込
 - セーフティ分野：OTAによるロイヤリティ収入拡大、プロフェッショナルサービス収入の拡大を見込む
 - ロボティクス分野：Cambrian製品売上の拡大、低速自律運転向けプロフェッショナルサービス事業の拡大を見込む
 - アミューズメント分野：画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続
 - その他分野：新規採用デジタル機器向けのAI/GPUランニングロイヤリティの拡大を見込む

- 1 2023年3月期 第2四半期 決算説明
- 2 2023年3月期 第2四半期 取り組みと成果
- 3 2023年3月期 通期業績予想
- 4 **DMPの先進テクノロジー**



出典 : Edge AI Vision Alliance



Pcmag.com



Dailymail.co.uk



Visio.ai



Visio.ai



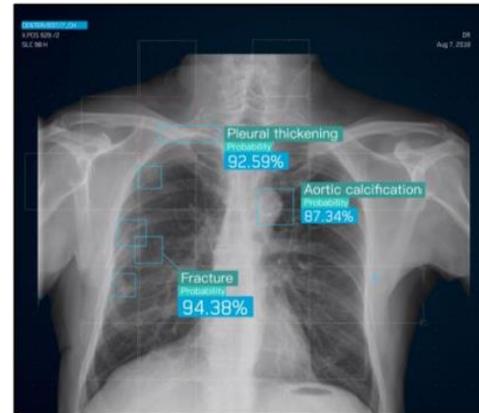
Tom'sguide.com



Just-auto.com



Vegetablegrowersnews.com



Global.invision.com



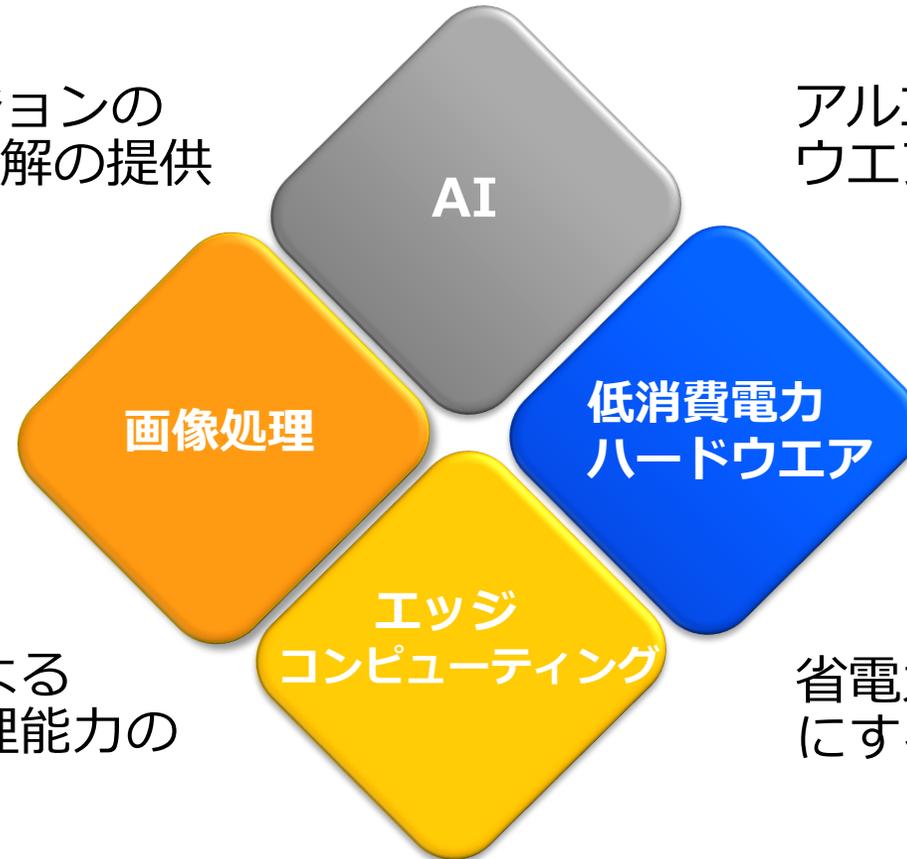
Mashgin.com

出典 : Edge AI Vison Alliance

GPU開発に裏付けられたAI及び画像処理技術と幅広い製品・サービスを通じドメイン最適化を実現

AIとコンピュータビジョンの
組み合わせによる最適解の提供

アルゴリズム、ソフトウェア、ハード
ウェアのフルスタック開発



エッジとクラウドによる
リアルタイム性と処理能力の
バランス

省電力、高性能システム開発を可能
にする各種IPと最適化技術

- **アミューズメント事業における付加価値増大**
- **次世代AIプロセッサIP開発**
 - **TV及びカメラの量産実績をバネに他分野へのライセンスを拡大**
- **自律運転とピッキングを中心としたロボティクス事業の推進**
- **セーフティ事業における分野拡大と継続的な提供価値の向上**
- **次の成長ステージに向け次世代センサー技術への取り組み**
- **品質と開発プロセスの継続的改善**

アミューズメント



アミューズメントSoC RS1
画像モジュール

ロボティクス



AI推論プロセッサIP
GPU IP
ISP & Stereo Vision
カメラモジュール

自律運転技術
Visual SLAM
ピッキングシステム

セーフティ



安全運転支援システム
DMS/ ADAS
クラウドサービス

GPU

省電力 IP

コンピュータ
ビジョン

エッジ&クラウド
コンピューティング





DMP AIプロセッサ-DV720がレグザの新プロセッサ-ZRαに採用

リアルタイムでの高ビット精度の信号処理と最新の超解像を実現



シーンの遠近の判別によるフォーカス



ネット帯域に対応した画像エンハンス



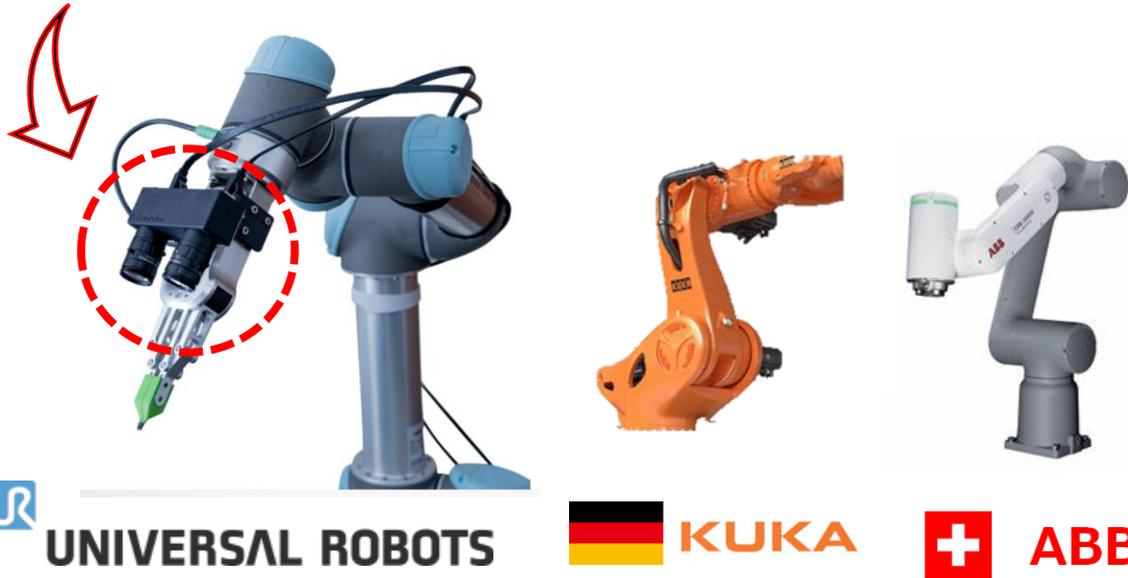
美肌



ノイズ低減

フレキシブル生産ラインの最適構成・配置と24時間稼働を実現

市販ロボットアームにカメラを取り付ける事で
ピッキング、溶接、検査など各種作業が可能に



主要各社のロボットアームに装着可
(国産ロボットアームへも対応中)

多様な部品に対応

透明な部品、プラスチック、光沢のある金属
など、幅広い部品をピック可能

スピード

- ・ 従来数週間要したセットアップが2-3日で可能
- ・ 認識時間約0.2秒。高速産業用ロボットを使用で、2~3秒のピックサイクル時間を達成

光環境に強い

外乱光の影響を受けず、あらゆる外光条件に対応

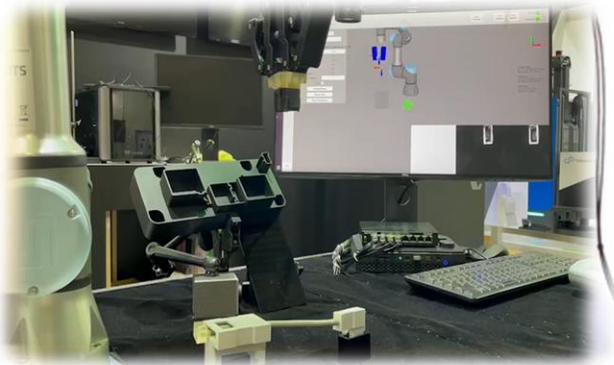
正確性

1ミリ以下の精度で部品を検出・ピック可能

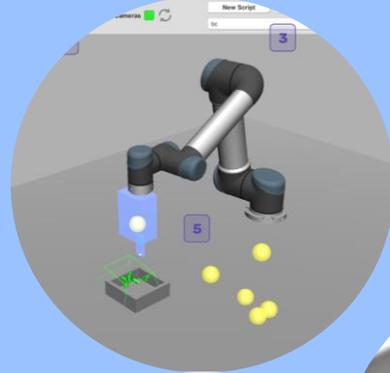
ばら積みピッキング



ケーブル挿入



STEP1:
対象アイテムのCADデータ入力



STEP2:
AIによる学習

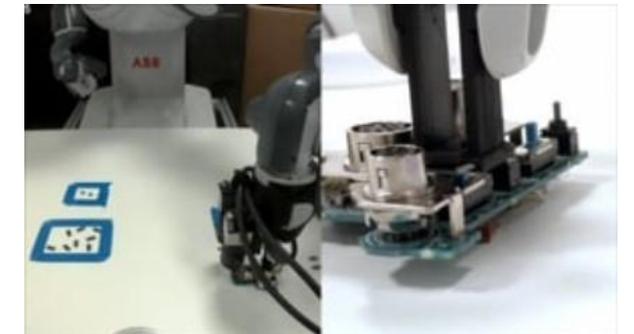
STEP3:
作業開始



キットティング



アセンブリー・溶接・検査



セットアップ計2-3日（従来比5分の一以下）

<https://vimeo.com/691347158>

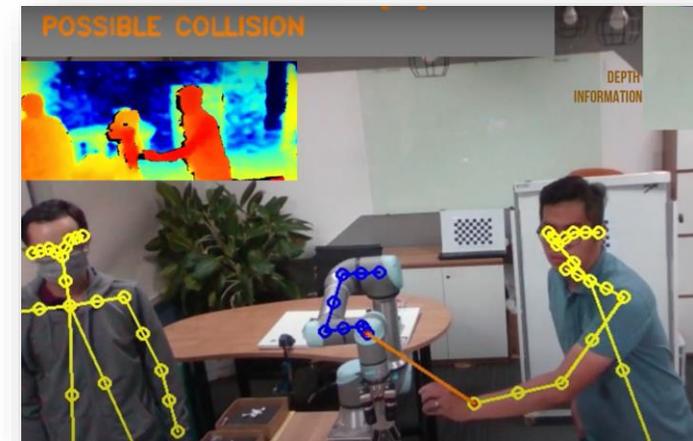
安全運転支援システム



インフラ： 鉄道車両人物危険行動解析



ロボット：デジタル安全柵「DMP Robot Safety」



ZIA™ SAFE 安全運転支援システム向けプロフェッショナルサービス

AIによる画像解析

人・車・ 物体の認識		道路・周辺 状況認識		顔・視線 検出	姿勢推定	進行方向 推定	距離推定	プライバシー 保護
検出	追跡	解析	予測					

AIソフトウェアモジュール「ZIA™ SAFE」

- AIソフトウェアモジュール「ZIA™ SAFE」を顧客仕様に合わせて組み合わせ・カスタマイズ
- 教師ラベルの作成、学習、ニューラルネットの最適化、性能評価、モデルの圧縮、高速化
- GUI開発
- お客様の高速化・低消費電力化のご要求に応じて、ハードウェアアクセラレーションを実現





Restar Holdings Corporation

Propheseeイベントベースカメラ



DMP C3 AI プロセッサモジュール



DMP AIプロセッサと人間の網膜/脳の働きを模倣するイベントベースカメラ（ニューロモルフィックセンサー）により暗所でも人や車を検出

見る

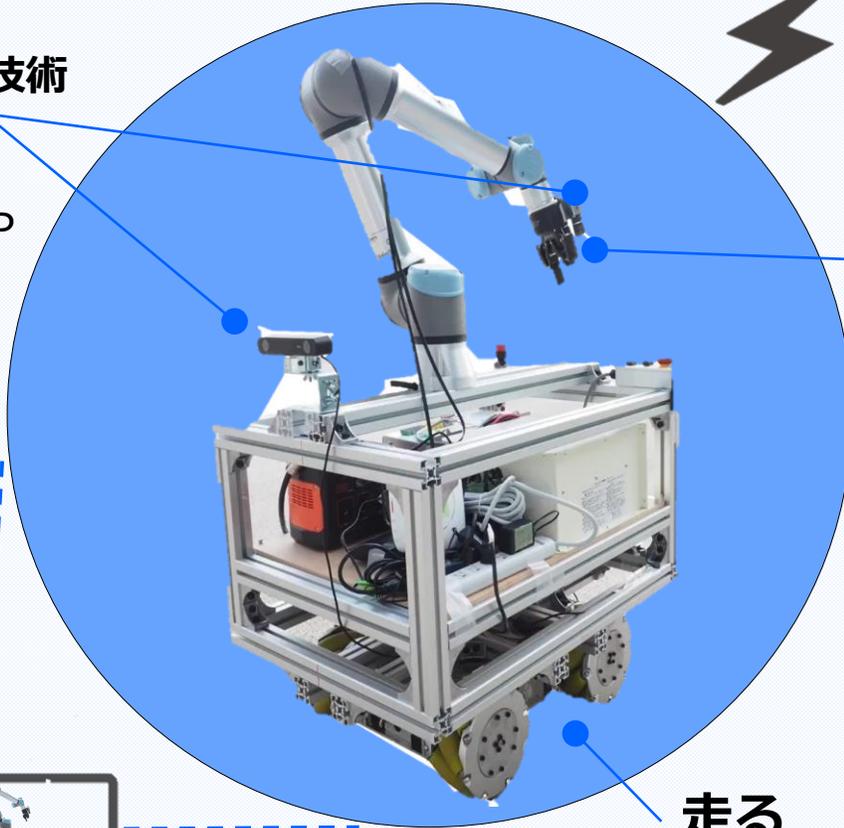
DMPの画像処理技術

- カメラ
- AI 認識
- ISP/Stereo IP

再現する

DMPの3D技術

- デジタルツイン



つながる

DMP・ソフトバンクの協業

- 5G

つかむ

DMPのピッキング・ソリューション

- Cambrian Vision System

+ 安全に

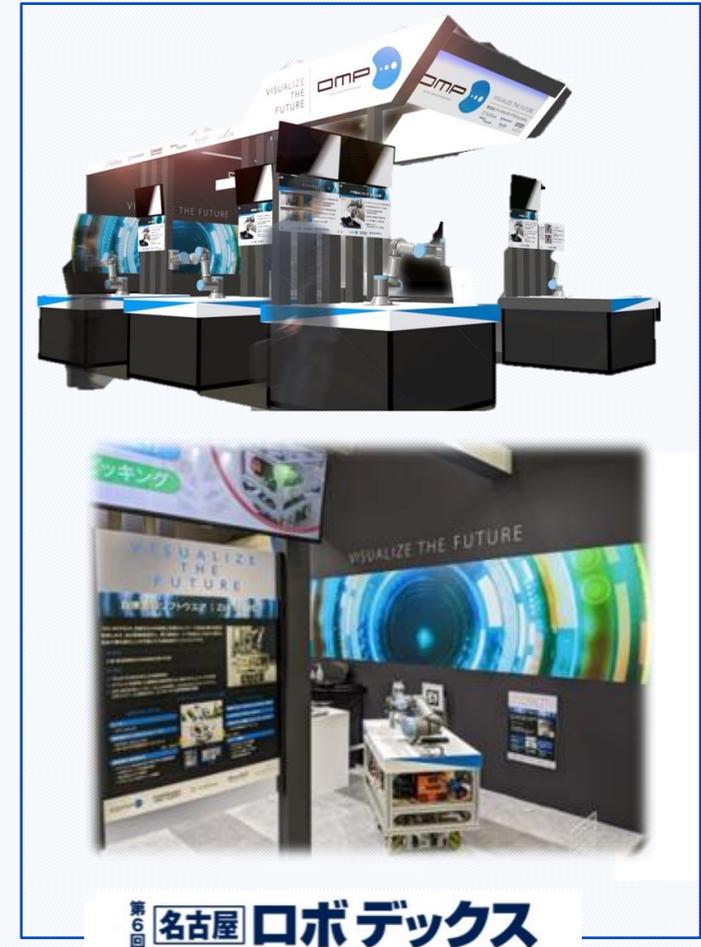
DMPのセフティー技術

- ZIA SAFE
- デジタル安全柵

走る

DMPの自律走行技術

- ZIA MOVE
- ZIA SLAM



第6回 名古屋 ロボデッキ
2022年10月【名古屋】ロボデッキス
DMPブースにて実機デモ

<お問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: <https://www.dmprof.com/jp/ir/>

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。